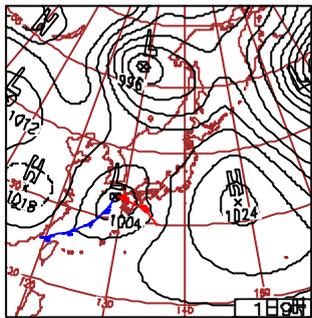


2003年 3月

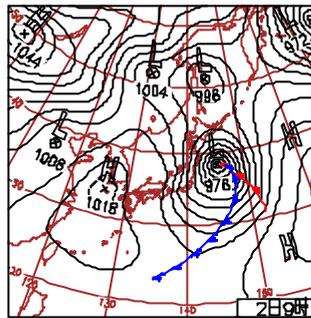
- ・ 1日、東・西日本で大雨。横浜の雨量は150mmを越える。
- ・ 7日～11日、冬型の気圧配置で全国的に低温。
- ・ 23日～24日、高気圧に覆われ全国的に晴れて暖かい陽気。

(気象庁予報部予報課)



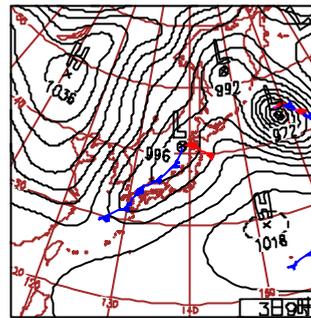
1日(土) 東・西日本で大雨

低気圧が発達しながら本州を横断。東日本以西で大雨のところあり、枕崎で1時間降水量62mm。日降水量は横浜で153.5mm、静岡県天城山239mm、それぞれ極値更新。



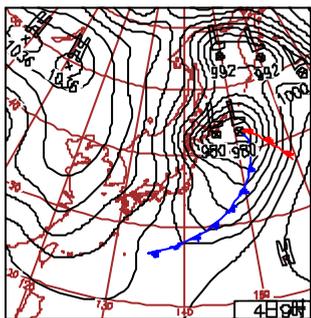
2日(日) 各地で強風

低気圧が三陸沖で猛烈に発達。関東甲信地方以北で強く、瞬間風速は日光で37.2m/s、宇都宮で33.3m/s。埼玉県県の越生町で強風のため1人死亡、栃木県の矢板市で一棟全壊。



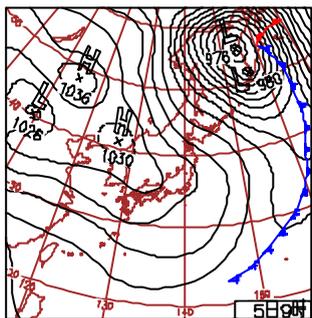
3日(月) 関東・北陸で「春一番」

発達中の低気圧が津軽海峡を通過。北海道は雪、他は曇りまたは雨。関東や北陸地方では暖かい南西の風が吹いて「春一番」昨年より12日早い。「雛の日に春一吹いて山霞む」



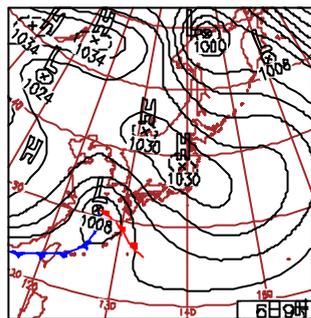
4日(火) 寒の戻り

北日本上空には真冬並の寒気が入り込み、日本付近は強い冬型。北日本や日本海側の広い範囲で雪。日中の最高気温は全国的に平年より3～5度低く再び冬の寒さが戻る。



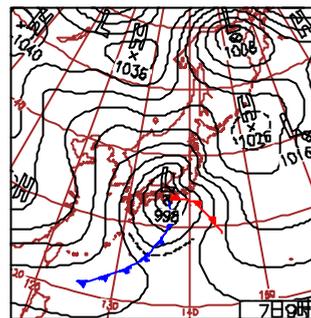
5日(水) 西から天気下り坂

高気圧が大陸から張り出しているが、沖縄と九州の一部では午後には雨。桜の開花予想発表。東・西日本では平年より早い所が多い見込み。富山・水戸・東京でツバキ開花。



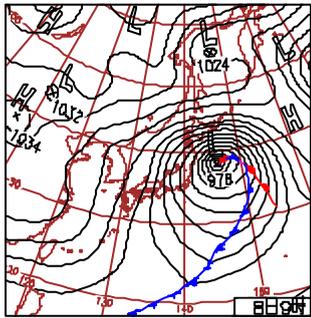
6日(木) 「啓蟄」

高気圧が三陸沖に進み、北海道・東北地方で晴。低気圧がゆっくり本州南岸沿いを東進。東日本以西は曇りや雨で気温上がらず寒い「啓蟄」。



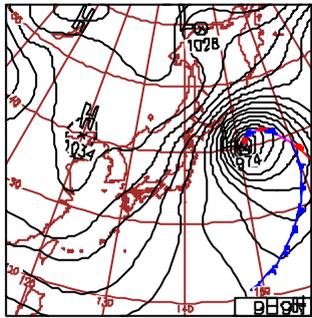
7日(金) 発達した低気圧が通過

低気圧の影響で全国的に曇りや雨、山沿いで雪。東北地方の太平洋側で所によって日降水量50mm以上。太平洋側で風が強く、最大瞬間風速が、津で25.4m/s、伊良湖で29.8m/s。



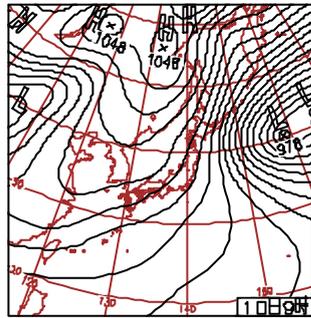
8日(土) 宮古日降雪量の極値更新

発達した低気圧が三陸沖をゆっくり北上。北日本は風や雪が強く荒れた天気。宮古では日降雪量が62cmで、1953年以降の記録を更新した。関東以西の太平洋側は晴れた。



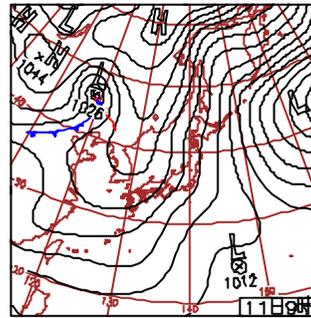
9日(日) 再び冬型気圧配置

日本付近は強い冬型の気圧配置。北海道のオホーツク海側と本州の日本海側の所々で雪や雨。全国的に風強く、気温も平年より低め。酒田でツバキ開花、観測開始以来最早。



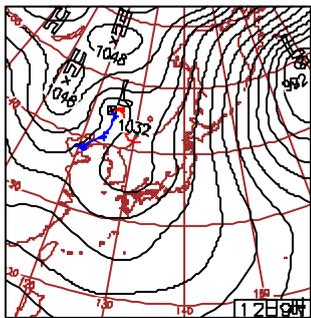
10日(月) 冬型気圧配置続く

北海道と東北地方から中国地方の日本海側で雪。低気圧が発達中の北海道東方海上は大しけ。日中も寒く全国的に平年より5～6度低め。暖候期予報発表、今夏の気温は平年並。



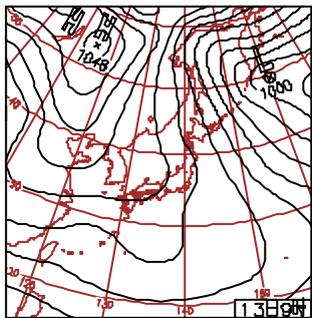
11日(火) 新種、ホシザクラ発見

冬型気圧配置続き、中国以北の日本海側と関東北部で雪。太平洋側では北海道の曇り以外は全般に晴。東京都・多摩で新種の桜発見され、がくの形からホシザクラと命名された。



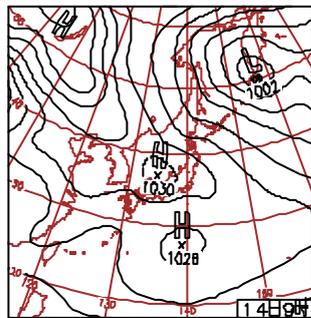
12日(水) 東大寺「お水取り」

冬型が続く北海道から北陸にかけ所々で雪。他は概ね晴れるが、全国的に気温は平年より低く、広島、名古屋でも冬日。東京は最小湿度18%で、関東地方では乾燥した状態が続く。



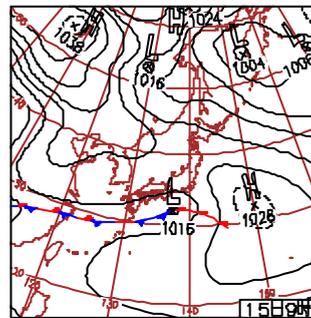
13日(木) 冬型気圧配置ゆるむ

冬型の気圧配置がゆるみ雪は北海道～東北の一部のみ。東シナ海に弱い気圧の谷があり九州南部と南西諸島は雨。正午過ぎ関東でやや強い地震、茨城県など4県で震度4。



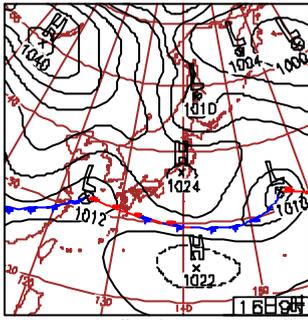
14日(金) 西から天気崩れる

移動性高気圧に覆われ全国的に晴れるが、気圧の谷の影響で九州南部から次第に雲が広がり、夜遅くには九州～中国、四国地方で雨。輪島、仙台でウメ開花。

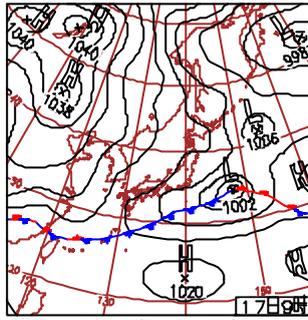


15日(土) 太平洋側中心に雨

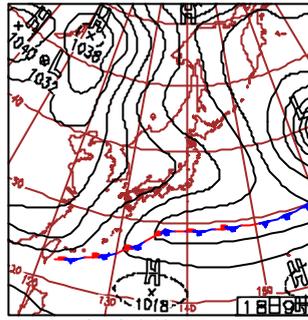
南海上を低気圧が東進。全国的に曇が多く関東以西の太平洋側で弱い雨。朝の気温は全国的に高めだったが、日中は北日本を除き東海から近畿では平年より5～6度低い。



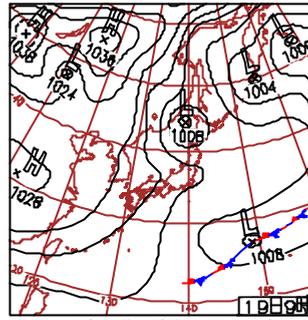
16日(日)世界水フォーラム開幕
南岸の前線を低気圧が東進。東・西日本で全般に雨。北日本も次第に曇。北海道の一部で雪。気温は西日本で低目、東日本では高目。京都で世界約170か国が参加し3日間討議。



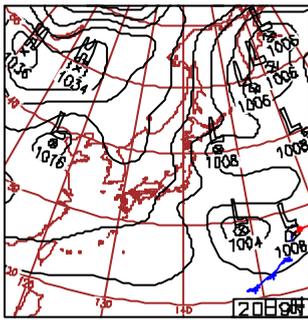
17日(月)関東で冷たい小雨
低気圧に伴う前線が南海上に延び、東日本の太平洋側で北東気流が入る気圧配置。関東では、平均気温が平年より2~4度低く、冷たい小雨。新潟で梅が開花。



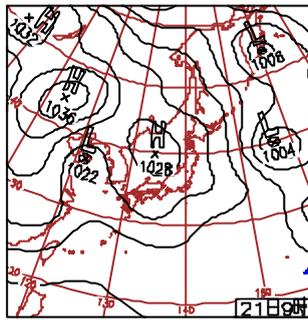
18日(火)桜前線四国に上陸
弱い冬型の気圧配置。晴れた所が多かったが、関東甲信地方は北東気流の影響で曇り、所により小雨や小雪。高知で平年より5日早く、昨年より1日遅くソメイヨシノが開花。



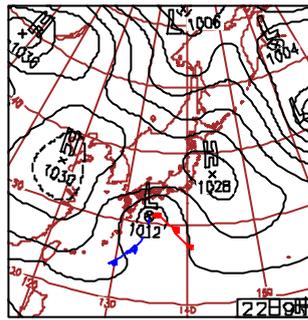
19日(水)北に寒気、西から春
北海道の西に強い寒気を伴った低気圧があり南東進。日本付近は弱い冬型。日本海側と北日本の山沿いで弱い雪や雨。長崎、潮岬で桜開花。津和歌山、岡山でタンポポ開花。



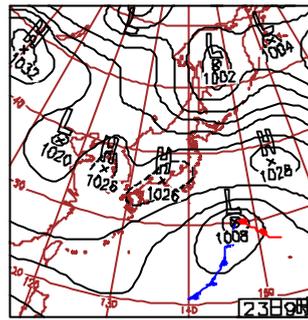
20日(木)桜前線順調に北上
低気圧が北海道を通り、北日本の一部で雪、南西諸島では曇りや雨、その他は概ね晴れ。宇和島・熊本・種子島で桜開花。種子島は平年及び昨年より7日早い。



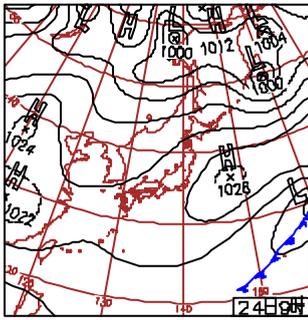
21日(金)東海地方で桜開花
東北地方・北海道の一部で雪。九州南部・沖縄地方は気圧の谷の影響で雨広がる。その他の地域では高気圧に覆われ晴。佐賀・静岡で平年よりそれぞれ5日、7日早い桜の開花。



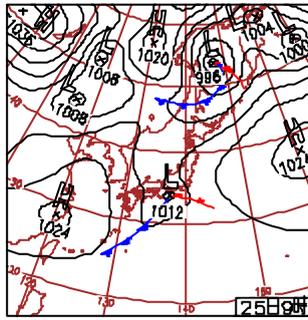
22日(土)センバツ高校野球始まる
日本南岸を低気圧が通過。関東から近畿にかけた曇りや雨の天気。北日本を除いて最高気温は平年より低め、関東では2月上旬並み。福岡で桜の開花。



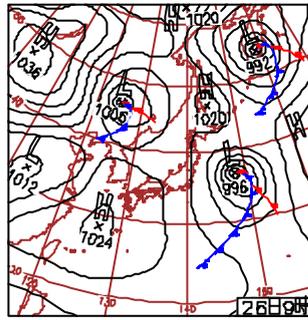
23日(日)全国的に穏やか
移動性高気圧に覆われて全国的に晴れて穏やかな天気。日中の気温も北日本で4月並みの暖かさ。宮崎で桜開花。



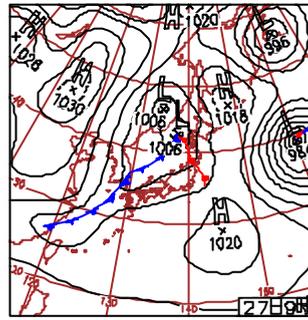
24日(月)ぼか ぼか陽気
移動性高気圧が東へ進み、西からは気圧の谷が東進。西日本から次第に雨雲が広がり関東地方も夜遅くから雨。東・北日本で気温が上がり、東京19.1度は4月中旬並みの暖かさ。



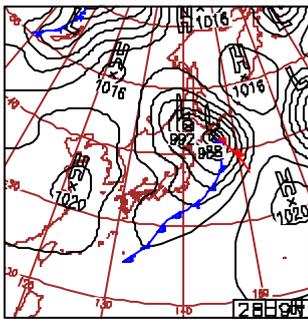
25日(火)黄砂西日本に初飛来
低気圧が発達しながら南岸を東進。太平洋側を中心に雨。高知で桜満開。松江など6官署で黄砂観測。ひまわり5号代替のGOES9号への引き継ぎは5月中旬と気象庁発表。



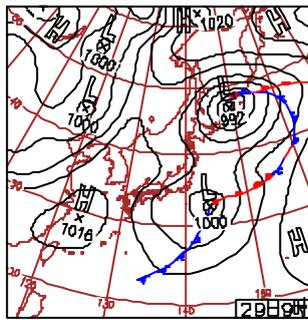
26日(水)春の陽気続く
日本の南海上の高気圧に覆われ北海道を除き、全国的に晴。気温も上昇し4月上・中旬の陽気。和歌山・松山で桜開花。大阪を始め中国・近畿・四国など15官署で黄砂を観測。



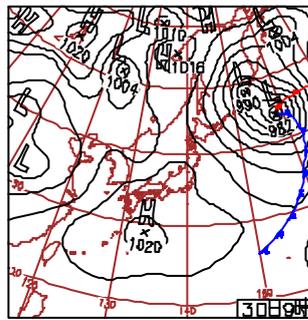
27日(木)東京で桜の開花
日本列島を寒冷前線が通過。各地で南風が強まり一時雨の天気、北海道では低気圧の影響で雪。東京・横浜・館山・甲府で桜の開花。東海・近畿を中心に黄砂を観測。



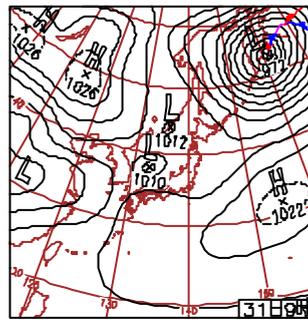
28日(金)プロ野球が開幕
北海道は低気圧の影響で雪、道南の沿岸に波浪警報、北陸の日本海側で曇りや雨の天気。銚子と八丈島で桜の開花、岐阜と宇和島で黄砂の観測。



29日(土)次第に回復
北海道付近は低気圧の影響で所々降雪。一方関東の南東海上に低気圧あり東進。西日本は回復に向かうが、静岡県三島で16時に10ミリの雷を伴う雨。大阪でツバメ初見。



30日(日)九州で桜が満開
南高北低の気圧配置。西日本を中心に概ね晴れの天気。最高気温は九州で平年より高く、北海道では低い。奈良・敦賀・米子で桜の開花、尾鷲・飯原・佐賀・宮崎で桜の満開。



31日(月)長野でひばりの初鳴
南海上から日本付近を覆っていた高気圧は東海上に進み、日本全体が気圧の谷に入る。西日本から雲広がる、東北の日本海側で雨。今年全国初めてのひばりの初鳴を長野で観測。